



## 1人1台端末は 令和の学びのスタンダード

校長 荒井 英治(あらい えいじ)

上記は、文部科学省の「GIGAスクール構想の実現へ」のリーフレットにある言葉です。習志野市でも令和3年度から、新しい時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育成するため、1人1台タブレット端末と通信ネットワークを一体的に整備することで、ICTを活用したわかりやすい授業の実現を目指します。

例として、教師は授業中に子どもたち一人一人の学習状況を把握し、一人一人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能になります。また、1人1台タブレット端末を持っているので、教師の指示により個々が別々の内容を学習することも可能になります。今までなら、意見を発表する子どもを中心に授業が展開されていましたが、有効に活用すれば、一人一人の考えを学級全体で、リアルタイムで共有し、子ども同士でも双方向の意見交換が可能になります。これにより、各自の考えを共有し、多様な意見にも即時に触れることも可能になります。

さらに、デジタル教科書の活用も始まります。デジタル教科書の種類にもよりますが、一般的には、デジタル教科書のメリットは以下の例が示されています。

- ・拡大縮小、表示が簡単にできる。
- ・動画や音声の再生ができる。
- ・書き込みや保存ができる。
- ・画面上でカードを動かすなど試行錯誤がしやすい。

これらの環境を有効に活用するために、教師が試行錯誤しながら研修を重ねていく必要があります。4月中旬には、タブレット端末の利用及び管理に関する要綱など複数の資料を配付いたします。内容について御一読いただき、利用同意書を提出していただいたうえで、4月後半には、1人1台のタブレット端末をお配りいたします。お子様の学びを支えていただくために、保護者の皆様にも御理解と御協力をお願いいたします。

～保護者・地域の皆様へ～

まだまだ、コロナウイルスとの共存が続きます。中でも、大久保小学校の児童は、工夫して学習に取り組み、友達とも仲良く生活しています。教職員一同、児童の健やかな成長を目指して頑張りますので、本年度もどうぞよろしくお願いいたします。